

# 黎明期からシネコン設計に携わり ビジネスの視点から空間を思考し 運営効率の高い施設づくりを確立

日本を代表するシネコン設計者、吉村元宏氏が2002年に創業した(有)テクスチャーが20周年を迎えた。施設づくりのプロとしてシネコンの進化を支えてきた吉村氏に、これまでの歩みと設計の背景にある哲学、そして今後の展望について伺いました。



TEXTURE DESING OFFICE  
代表取締役  
吉村元宏氏

PROFILE

**吉村元宏** Motohiro Yoshimura  
1972年生まれ。93年、国立明石高専卒業後、(株)新建築都市研究所入社。映画館・シネコンの設計コンサルティングに携わる。97年、1級建築士資格取得。02年、(有)テクスチャー設立。06年開業の「TOHOシネマズひたちなか」(株)日本設計との共同設計)がグッドデザイン大賞受賞。他受賞歴多数。

【所在地】神戸市西区学園東町4-35-19  
【連絡先】078-767-8001  
【URL】http://www.texture.jp  
【Mail】yoshimura@texture.jp

ルでした。暗い空間だと目を引きま。チケット売り場の横にあるので、チケット代を払って、財布を出している時にそのままスライドしてポップコーンとコーラを買わせる仕組みになっている。シネコンの売上で重要な部分を占めるコンセッションへの動線を空間演出、つまり設計デザインの中で生み出していたのです」

前職の設計事務所での最後は1年間に3施設のシネコンの新築を担当した。大手興行会社は、映画館の主流をシネコンへと舵を切り始めていた。吉村氏は独立し、2002年にテクスチャーを創業した。

「独立した後も、前職で現場を担当していた興行会社から設計の発注をいただきました。当時の僕の実力はなかったけれど、勢いはありました。シネコンは日本にない文化。担当者の方々と一緒に試行錯誤を繰り返しながら、研究しました。現場の方と一緒に悩みながら解を導いていくプロセスは今も大切にしています」

今でこそ、誰もが共通してイメージする「シネコン」が確立しているが、吉村氏がテクスチャーを創業した2002年当時は、まったくフォーマットがなかった。

「本場のシネコンを研究して、議論し、挑戦して、時には失敗もしました。最初は『コ

ンセッションって何?』でしたからね。興行会社のみなさんと一緒に培ってきたノウハウを新しい施設づくりにフィードバックし、マイナーチェンジを続けていく。その繰り返してました」

このプロセスを繰り返しながら、吉村氏はシネコンの空間デザインだけでなく、機能と設備を熟知するトータルプロデューサーとしての知見を培ったのである。

2000年代、シネコンは映画興行施設の主流となり、現在に至るまで、映像、音響、快適性、そしてサービスを進化させてきた。かつて不衛生なイメージの強かった映画館はいつしか「健康的な娯楽場」に位置付けられるようになった。

「昔の映画館はイスが硬くても、雰囲気は暗くても、映画ありきで『見させてやっている』という意識でした。でも、シネコンが登場し、ショッピングセンターの集客コンテンツの役割を果たすようになり、『お客様に来ていただいている』と大きく意識が変わったのだと思います」

来場者の満足度を高めるシネコンづくりへと舵を切った興行会社の経営方針に寄り添うように吉村氏は「運営のしやすさ」を重視する設計に注力してきた。

スタッフの動線は入社したスタッフがお

本場のシネコンを徹底的に研究し、現場とともに施設づくりに挑戦

吉村氏が20歳で建築事務所に入社した1993年は、日本のシネコン元年だった。同年4月、国内初のシネマコンプレックス「ワーナー・マイカル・シネマズ海老名」が神奈川県海老名市に開業した。

「照明を絞った暗いロビー空間にネオンサインが輝き、ワーナーのキャラクターがディスプレイされている。ポップコーンやホットドックは大きなアメリカンサイズ。座席もゆったりとし、前の座席との間隔も広い。アメリカ文化の雰囲気、そして快適性、さらには通路の両脇にシアターを配置する効率的な設計も日本ではなかった」と吉村氏は当時を振り返る。

吉村氏はその後の9年間の修行時代に映画館のシネコン黎明期に立ち会った。1,000席の大型映画館の劇場に壁を立て、複数のスクリーンの分割する設計から始まり、徐々にシネコンの設計を依頼されるようになった。プロジェクトに参加した吉村氏は、ワーナーをはじめとする本家のシネコンを徹底的に研究。見えてきたのはマーケティング戦略だった。

「当時、コンセッションの壁は黄色いタイ



109シネマズ大阪エキスポシティ



アースシネマズ姫路

DesignWorks

映画館及びシネコン実績(2021年12月現在) / 新築・増館合計: 416スクリーン(シネコンサイト数: 44サイト)

2002 新築 新居浜TOHOプレックス 7sc  
新築 高岡TOHOプレックス 8sc  
新築 京成ローザ East 6sc  
改装 ナビオTOHOプレックス(※)  
(※竹中工務店共同設計)  
改装 鯖江シネマ7 ロビー  
改装 京都宝塚 コンセッション  
改装 京都スカラ座  
改装 三番街シネマ1,3

2003 新築 シネマヴィレッジ8-イオン柏 8sc  
改装 渋谷文化 コンセッション  
改装 三番街シネマ チケットブース、コンセッション  
改装 日比谷映画 チケットブース  
改装 洗東シネタワー コンセッション  
ロゴ シネマヴィレッジ8-イオン柏



シネマヴィレッジ8-イオン柏

2004 新築 TOHOシネマズ樺原 9sc  
新築 TOHOシネマズ光の森 9sc  
新築 TOHOシネマズ木曽川 10sc  
新築 TOHOシネマズ宇都宮 10sc  
新築 TOHOシネマズ高知 9sc  
新築 TOHOシネマズ緑井 8sc  
改装 鯖江シネマ7 コンセッション  
改装 ダイヤモンドシティ東宝8

2005 新築 TOHOシネマズ直方 9sc  
新築 TOHOシネマズ二条 11sc  
新築 TOHOシネマズひたちなか(※) 10sc  
(※日本設計共同設計)  
新築 TOHOシネマズ水戸内原 8sc  
新築 TOHOシネマズ津島 10sc  
増館 ナビオTOHOプレックス 1sc  
改装 TOHOシネマズ東浦 STORE増設  
改装 シネマメディアージュ STORE増設  
改装 伊丹TOHOプレックス  
改装 三番街シネマ ロビー

2006 新築 TOHOシネマズはません 9sc  
新築 TOHOシネマズモロリ岐阜 12sc  
新築 長野グランドシネマズ 8sc  
新築 TOHOシネマズ岡南 10sc  
新築 TOHOシネマズななば 9sc  
新築 TOHOシネマズ与次郎 10sc  
改装 TOHOシネマズリアス山  
改装 A宅マンションリフォーム  
コガル 東京スカイツリー基本計画



TOHOシネマズななば

お客様のいるロビーを通過せずにバックヤードに入れるルートを基本とした。売店の現金を事務所へ安全に運べるようスタッフ用の出入り口と通路を設計。チケットのインターネット購入が主流となり、販売の手間が省けるようになると、チケット確認とコンセッションを少人数で兼務できるように配置を工夫した。

「スタッフが余裕をもって運営できれば、コンセッションなどの効率が上り、行列ができるのを防ぎ、売上がアップします。何より、スタッフは来場者に笑顔で接客できます。結果として、お客様、スタッフ、興行会社の満足度が高まるのです」

斬新な発想とのコラボで  
シネコンに新たな楽しみ方を

いま、吉村氏がシネコン施設開発で担う

2007 新築 LIVING BAR KANADE  
シネマックスちほら台 10sc  
改装 TOHOシネマズ梅田  
改装 TOHOシネマズ梅田アネックス  
改装 TOHOシネマズ伊丹  
ロゴ LIVING BAR KANADE  
ロゴ ラウンジ心桜

2008 新築 プリリアショートショートシアター 1sc  
新築 TOHOシネマズ鳳 10sc  
新築 TOHOシネマズ長崎 9sc  
新築 TOHOシネマズ西宮OS 12sc  
新築 松本シネマライツ(※) 8sc  
(※カミムラ建築研究室共同設計)  
改装 TOHOシネマズおいらせ下田  
改装 TOHOシネマズ秋田  
改装 松江SATY東宝  
ロゴ 東宝フーズ  
ロゴ 松本シネマライツ

2009 新築 藤枝シネプレゴ 7sc  
新築 シネマサンシャイン土浦 9sc  
新築 シネマックス浦集 8sc  
新築 シネマサンシャインかほく 8sc  
改装 TOHOシネマズ高岡  
改装 TOHOシネマズ新居浜  
改装 米子駅前SATY東宝  
改装 シネマサンシャイン衣山  
改装 シネマサンシャイン北島  
ロゴ 藤枝シネプレゴ  
コガル 豊田県平橋岸上地区に於ける新タワープロジェクト(東京スカイツリー)  
コガル 日映本社ビル

2010 新築 シネマサンシャインエミフルMASAKI 9sc  
改装 シネマサンシャイン大洲  
改装 米子駅前SATY東宝



シネマサンシャインエミフルMASAKI

2011 新築 大牟田セントラルシネマ 7sc  
新築 シネマサンシャイン大和郡山 9sc  
新築 109シネマズ湘南 10sc  
改装 静岡東宝会館  
改装 109シネマズ富谷

2012 新築 LAZO表参道(※)  
新築 天文館シネマパラダイス(※) 7sc  
(※永園設計共同設計)  
新築 日映森岡ビル 本社OFFICE  
改装 ホテル日航プリンセス京都 チャペルロビー  
改装 シネマサンシャイン衣山 IMAXシアター  
改装 シネマサンシャイン土浦 IMAXシアター

のは、コンサルティングから企画、デザイン、施工管理、メンテナンスの相談まで幅広い領域に及ぶ。さらには、開業後の運営サポートも視野に入れている。

さらに、こういった吉村氏の俯瞰的なシネコンづくりの知見をコンサルティング的に求めるプロジェクトも増えている。ハードづくりの設計や施工会社と興行会社、施設の施主の間に入り、限られた工期で専門的な設備を要するシネコンを開業するための調整役や総合監修を果たすのだ。「僕がバックアップに入ることで、プロジェクトが円滑に進めばと思っています。すべて僕が手がけて100%の完成とするより、新たな才能と僕のノウハウでコラボして120%の満足度をお客様に提供することができれば何よりだと考えます」。

創業から20周年。第一線で活躍してきた吉村氏は今後、シネコンがどのような進化

2013 新築 OSシネマズ神戸ハーバーランド 9sc  
新築 シネマックスつくば 10sc  
改装 エーガル8シネマズ  
改装 大牟田セントラルシネマ STORE



OSシネマズ神戸

2014 新築 シネマサンシャイン下関 8sc  
新築 USシネマズ木更津 10sc  
新築 イオンモール岡山 おかやま未来ホール(※)  
(※大木組共同設計)  
改装 富崎セントラルシネマ  
改装 テアトル新宿

2015 新築 テラッソ姫路 ※総合監修  
新築 アースシネマズ姫路 12sc  
新築 109シネマズ大阪エキスポシティ 11sc  
改装 敷島ビル空調入替え  
改装 有楽町スバル座  
改装 エーガル8シネマズ IMAXシアター

2016 新築 JMAXシアターとやま(※) 8sc  
(※久米設計共同設計)  
改装 シネマサンシャイン衣山  
改装 エスビー広告 オフィス

2017 改装 シネマサンシャイン北島  
増館 あべのアポロシネマ 1sc  
改装 東武ビジネスリノベーション オフィス

2018 新築 ポレポレシネマズいわき小名浜 9sc  
増館 OSシネマズ神戸ハーバーランド 1sc  
改装 ホテル日航プリンセス京都 セミスイート  
ロゴ ポレポレシネマズいわき小名浜



ポレポレシネマズいわき小名浜

2019 新築 グランドシネマサンシャイン(※) 12sc  
(※竹中工務店共同設計)  
新築 シネマサンシャインららぽーと沼津 10sc  
改装 シネマサンシャイン土浦  
改装 東武不動産本社 オフィス  
改装 シネマサンシャイン大和郡山 IMAXシアター

2020 改装 あべのアポロシネマ ロビーWC  
改装 アースシネマズ姫路 スクリーンX

2021 改装 アースシネマズ姫路  
改装 テラッソ姫路 ※総合監修

写真:ナカサンドパートナーズ

を遂げると考えているのか。

「映画興行そのものが激変することはないと思います。ただ、この20年がそうだったように、来場者により良い環境へと変化していく。個人的には地域ニーズに合わせて、他のシネコンと差別化する個性の尖った施設に誕生してほしいです」。

もうひとつ吉村氏が指摘するのが、映画を観る空間の新たな価値提供である。

「映画は食事とのマッチングも決して悪くないし、好きな映画をプライベートなVIP空間で観たいというニーズもあるはず。映画の新しい楽しみ方はまだまだあるはず。映画興行の外にいるクリエイターたちの知恵ともコラボしながら、一緒に楽しく発想していきたいと思います」。

映画興行の斬新な発想と吉村氏のシネコンづくりの知見から新たな映画鑑賞のかたちが生まれることに期待したい。